

弱難測朝爲輕冠^冠夕其重戮請降之後如有^凡
小變臣等恐偏慮存國還陷罪戾望更賜天
使檢察其事謹以申聞云々

按之に保則元慶二年正月拜出羽按守
右中辨如故と列考にあり史生ハふこむと
刑も職系抄曰大臣以下判按之職や居る
職若多轉^ス史但小概氏輩^ハ補之門流等
補之云々大初位といハ位階は九より一
中も九を初位といひ八位より一位より
材ををるりと刑も事^ハ玉史の常なり

古儀法外も人を表も^ハの詞もをるり出を
といふ詞ありそを能を材にに出せといふ事
もや檢非違使ハ非違をてとあり^ハ職
系抄曰 淳和天皇^ハ淳和天皇^ハ天長年中初を
之^ハ吳朝を^ハ重^ハげ^ハ職^ハ昔唐虞代皋陶爲^ハ古此
云大^ハ理云々百^ハ鍊沙^ハも^ハ天下非違を^ハ断
とあり^ハ檢醫師大初位下^ハ職系抄曰醫師
お當從七位下唐名目醫師檢官^ハより由^ハに
大初位下^ハも^ハや今の醫師の^ハこと古^ハ
判^ハ發^ハして十^ハ德^ハ未^ハを^ハ着^ハる^ハ事^ハなり^ハ禁^ハ秘